

春季善行表彰並びに特別善行表彰式を開催



一般社団法人
日本善行会

〒100-0006
東京都千代田区有楽町
2-10-1 東京交通会館内
TEL (03) 3212-6996
FAX (03) 3212-6998
URL: http://www.zenkoukai.or.jp
メール: info@zenkoukai.or.jp

毎月1日発行
編集発行人 相澤 克也

善行は、社会を
照らすともしび。

※本会は善行精神の普及と善行の実践を通して明るい住みよい社会環境づくりにつとめております。会員会費と個人・企業・地方公共団体からの賛助金により運営されております。広く会員を募集しております。

令和元年度春季善行・特別善行表彰式を、五月十八日(土)午後一時三十分から明治神宮参集殿において、多数のご来賓と本会役員の出席の下、盛大に開催した。各地域において、明るく住みよい社会づくりのために、長い間活動をされた、多大な貢献をされた個人や団体を表彰し、その功績を称え、感謝するとともに、これらの方々を広く社会に紹介し、一層の善行活動の推進と善行精神の普及高揚を図るものであり、今回の表彰は、昭和二十六年に善行表彰が開始されてから、六十九回目である。今回の表彰では、八十三名の個人と六十一の団体計百四十四が表彰された。また、特別善行表彰は、受賞後も引き続き相当期間、善行活動を継続している方々を対象にした表彰であり、その善行活動の実績により、善行金章と同銀章がある。今回の受賞者は、善行金章が三十五名、同銀章が八十三名計百十八であった。表彰式は、国歌斉唱の後、相澤副会長の「開式のことば」で始まり、続いて、勝野会長が主催者としての挨拶を行った。次いで、善行表彰受賞者選考委員会を代表して、川口雄選考委員長から選考経過報告が行われた後、受賞者の表彰に進んだ。表彰は、春季善行表彰から始まり、司会者が受賞者の名前を読み上げる中、各受賞者は順次ステージに上がり、勝野会長から、表彰状と善行金章が授与され、得賞者の流れる中参加者の盛大な拍手で祝福された。続いて、特別表彰善行金章・銀章の表彰に移り、善行表彰と同様、順次勝野会長から各受賞者に対し、表彰状と善行金章又は同銀章が授与され、参加者の拍手で祝福された。続いて、来賓の祝辞に移り、最初に、宮腰光寛内閣府特命担当大臣の祝辞(代読)、次いで、在日米空軍横田基地第374運用支援中隊司令リチャード・マツケレイニー中佐、前年度の春季善行表彰受賞者の林田理紗子氏、特別善行表彰の松本カネ子氏の祝辞がそれぞれ述べられた。次いで、祝電が披露された後、江戸川区立第二葛西中学校吹奏楽部(指揮:小林先生)による祝典音楽演奏が行われ、会場は表彰式の緊張した雰囲気から和やかなものへと変わった。続いて、音楽文化協会森川正子氏による「日本善行会の歌」の紹介と歌唱指導が行われ、力強い歌声が、会場いっぱい響き渡った。次いで、本会芸能奉仕団、マリリン氏のマジックショーの祝芸、障害者を克服しての広澤孝美さんのお祝いの歌の披露があり、会場は一層和やかな空気に包まれた。最後に、高田副会長による「閉式のことば」があり、式は滞りなく終了した。

祝辞

一億総活躍担当大臣
内閣府特命担当大臣
宮腰 光寛

一般社団法人日本善行会「令和元年度春季善行・特別善行表彰式」の開催に際し、一言御挨拶を申し上げます。まずは、この度、栄えある善行表彰を受賞された皆様から御祝い申し上げます。今回受賞された皆様は、様々な分野・地域において、それぞれの立場から、地域活動への様々な貢献を始め、交通安全への取組、環境美化、青少年リーダーとしての活動、社会福祉、自然と文化財の保護、防火活動、人命救助、国際貢献などに積極的に取り組んでこられました。これらの活動は、日々の地域での地道な活動を積み重ねることによって成り立つものと考えられます。皆様の善意と思いやりにあふれた活動は、社会の模範となり、地域の人々を励まし、未来に希望を与える素晴らしい力になるとともに、活力に満ちた明るい社会づくりに大いに貢献するものであります。これまでの皆様の活動に、心から感謝申し上げます。引き続き、若い感

式辞

一般社団法人日本善行会
会長 勝野 堅介



本日ここに、宮腰光寛内閣府特命担当大臣並びに在日米軍代表の方々をはじめとする多数のご来賓のご臨席を賜り、令和元年度春季善行表彰式及び特別善行表彰式を執り行うに当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。このたび受賞を受けられます皆様は、北は北海道、南は沖縄県までに及んでおり、地域社会において勇気をもって愛の手を差し延べられ、善行を

性、柔軟性をもって、それぞれの活動分野で善行活動を実践され、人々と人が支え合う社会の実現に向けて御尽力いただけるものと御期待申し上げます。また、この表彰事業を主催される一般社団法人日本善行会は、長年にわたり、善行の表彰を通じて、青少年の善行の奨励・推進に努めてこられました。関係の皆様のご御尽力に、深く敬意を表します。青少年は家族にとっても、社会にとっても、大きな可能性を秘めたかけがえない存在です。青少年が社会的に自立した個人として健やかに成長するとともに、明るい未

来を切り拓いていくことができるよう、社会全体で育成支援に取り組むことが求められています。このため、政府としても様々な施策を講じてまいります。最後に、受賞された皆様の御健勝と御活躍を、そして、一般社団法人日本善行会の今後のますますの御発展を祈念申し上げます。



(代読) 内閣府政策統括官(共生社会政策担当) 付調査官 谷口 哲也

は二十五回を重ねてまいりました。そして春季、秋季善行表彰、特別善行表彰を合わせて四万七千六十名の方が善行表彰を受賞されています。また、本会には全国に七十五の支部があり、三千五百名余の会員の方々が「善行は社会を明るくする」としび」を、あい言葉に、力をあわせ、青少年の健全育成や非行防止活動、社会福祉施設慰問、交通安全運動、環境美化運動、国際貢献等の善行実践活動と善行精神の普及啓発に取り組み、明るく住みよい社会の実現のために活動を続けております。本日、受賞を受けられます皆様も、受賞を契機に、更なる善行を重ねられますよう願っております。日本善行会の精神は、自分の立場や考えに固執せず、思いやりの精神で人に接し、明るく住みよい社会を建設していくというところにあります。人を信頼し、その心を思いやり、尊重して、その人を育てていくという温かい思いやりです。皆様の思いやりと奉仕の精神に支えられた一つの善行が積み重なり、継続することによって長い間には大きな輪となって広がり、日本を、ひいては世界を明るく住みよい社会とする原動力になるものと確信しております。本日ご列席のご来賓並びに関係者の皆様には、この頼もしい受賞者の皆様に對しまして、今後とも温かく見守り、応援していただき、誠にありがとうございます。お願い申し上げます。終わりに、本日受賞されます皆様、並びにご列席いただきました方々のご健勝と、益々のご活躍をお祈り申し上げます。ご挨拶と致します。